

■ 取扱説明書

本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

安全に使用して頂くため、必ず説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。

また、お読み頂いた後も、この説明書は大切に保管してください。

■ Instruction

Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

This product is designed and manufactured for use in Japan only.

We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

The importer shall be translate this instruction manual into the appropriate language for the users of this product.

The distributor shall make the users of this product understand the contents of this instruction manual.

■ ご使用前に

- ・本製品は自転車ハーフカバー内蔵の前カゴカバーです。それ以外の用途で使用しないでください。
- ・品質には万全を期しておりますが、使用前に破損が無いか確認してください。
- ・本製品が破損した場合は、使用しないでください。
- ・梱包装袋は乳幼児や小さなお子さまにとって、窒息の危険がともないます。開封後は速やかに処分してください。

■ 使用、安全上の注意事項

- ・破れにくい素材を使用していますが、鋭利なものが接触すると破れの原因となります。
- ・完全防水ではありませんので、長時間濡れる場所では放置しないでください。
- ・自転車の走行前にならず各ベルトが車輪や自転車可動部に接触していないかご確認ください。
- ・無理やり自転車カゴに取り付けけないようにしてください。生地が破れる可能性があります。
- ・濡れたり、汚れたまま放置しないでください。カビや汚損の原因となります。
- ・水や砂・土が付着した場合は、拭きとってからご使用ください。
- ・製品をストーブなどの熱源のそば、直射日光の当たる高温の場所などに放置しないでください。破損、変形、変色、火災の原因になる恐れがあります。
- ・光を吸収しやすい製品となります。直射日光のあたる場所に長時間放置しないでください。長時間放置しますと裏地のコーティングが剥げ、車体に付着したり、変色や色あせ、色移りの原因になります。
- ・ハーフカバー本体を収納、または取り出す際、生地がファスナーに引っかからないようご注意ください。
- ・廃棄の際は各地方自治体の廃棄区分に従ってください。

■ 製品仕様

フロントバスケットカバーサイズ：上部 /W420 x L330mm, 下部 /W370 x L250mm 高さ /280mm

ハーフカバーサイズ：530 x 1,200 mm (ハーフカバー中央部)

適合バスケットサイズ：外周 135 cm 以下

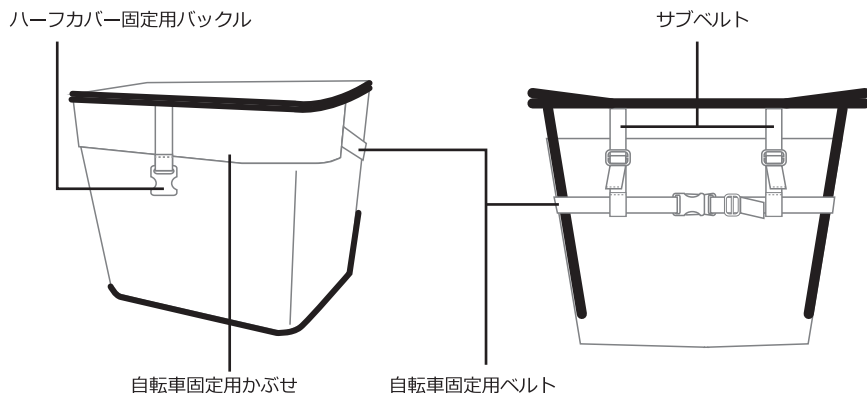
材 質：フロントバスケットカバー /300D ポリエステル

ハーフカバー /210D ポリエステル

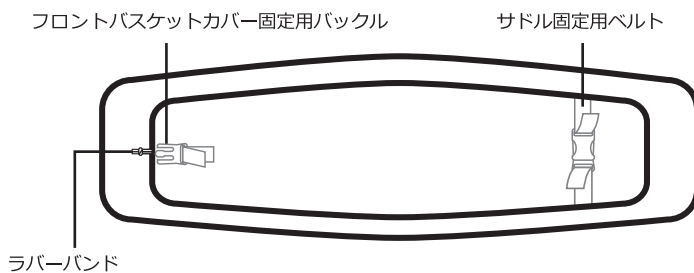
原産国：中国

■ 各部名称

フロントバスケットカバー



ハーフカバー



■ カゴ（バスケット）への取り付け方法

- 1) 自転車固定用ベルトのバックルをはずし、サブベルト（片方）のループから抜き取ります。
- 2) 自転車のバスケット（前カゴ）にフロントバスケットカバーをかぶせます。
- 3) 自転車固定用ベルトを自転車のバスケット（前カゴ）固定部（下）、取り外したサブベルトのループに通し、バックル固定します。
- 4) 自転車固定用ベルトの長さを調整します。

※バスケット（前カゴ）固定部（下）、サブベルト、自転車固定用ベルトの取り付けイメージ



■ 自転車ハーフカバーの取り付け方法

- 1) フロントバスケットカバー / ハーフカバー固定用バックルを取り付けます。
- 2) バスケットからサドルまでかぶせます。
- 3) サドル固定用ベルトを自転車のシートポストに通し、バックル固定します。
- 4) ハンドル部分が濡れないようカバーの位置を調整します。
- 5) ラバーバンドで長さを調整します。